

制度の詳細については原典等で御確認ください。
化学物質国際対応ネットワーク及び環境省は、利用者が本仮訳に掲載されている情報を用いて行う一切の行為について、何らの責任を負うものではありません。

ファクトシート

ECHA-12-FS-04.1-EN

分類・ラベル表示（C&L）公開インベントリ

分類・ラベル表示公開インベントリは、EU 市場に流通している届出が出された物質についての分類・ラベル表示情報を含む中央データベースです。このデータベースでは CLP 規則附属書 VI に基づく「国際的に調和された分類・表示」にカテゴライズされている物質の一覧を得ることもできます。

分類・ラベル表示インベントリへの届出

2010年12月1日の時点でEU市場に流通している全ての物質は2011年1月3日までに届け出を完了しなければならず、新たにEU市場に上市される物質は、上市後1カ月以内に届け出なければなりません。これまでに、ECHAは10万以上の物質について500万を超える届出を受けており、データベースは日々増大しています。

CLP 規則¹では、EU で上市される有害物質および REACH 規則に基づく登録の対象である全ての物質の全ての輸入者・生産者に、物質を上市してから1カ月以内に、物質の分類・ラベル表示を ECHA に届け出るよう要請しています。かわりに、ECHA は通知された全ての情報を収めた分類・ラベル表示インベントリを保持し、データベースの特定の要素を一般向けに公開しています（分類・ラベル表示公開インベントリ）。

¹ 物質と混合物の分類・ラベル表示・梱包に関する規則（EC）No 1272/2008。

公開分類・表示インベントリに含まれる情報

分類・ラベル表示公開インベントリの内容は CLP 規則によって定められています。これには物質の特質に関する特定の要素および全ての分類・ラベル表示（C&L）要素が含まれます。欧州既存商用化学物質インベントリ（EINECS）の全ての物質の EC 名と量、および可能な場合には、EC インベントリ内の他の全ての物質が公開されます。さらに、1人以上の届出人によって物質が REACH 規則第 119 条（1）で述べられているハザードクラス（これには CLP 規則ハザードクラスのほとんどが含まれます）に分類されている場合、その物質に関するすべての通知の分類・ラベル表示要素が公開されます。IUPAC 名は、第 119 条（1）に記載されているハザードクラスに分類された通知によってのみ公開されます。

以下の情報は分類・ラベル表示公開インベントリには含まれません。

- 通知人の問い合わせ先詳細
- 物質の組成プロファイルおよび不純物プロファイル

特定の事例では、物質が（第 119 条（1）に基づいて）危険物として通知されている場合でも、IUPAC 名が機密保持申請を受けて公開されない場合があります。物質についての国際的に調和された分類・ラベル表示（CLP 規則附属書 VI 表 3.1 および表 3.2）はインベントリに含まれます。

公開インベントリの利用

公開インベントリには、物質の特質および分類に基づく複合的な検索オプションがあります。特定の物質または物質群に関心のあるユーザーは、EC 名・CLP 附属書 VI インデックス名・IUPAC 名の一部または全部、もしくは EC 番号、CAS 番号、CLP 附属書 VI インデックス番号の一部または全部を用いて検索することができます。

簡単に利用できるよう、分類は物理的危険性、健康被害及び環境影響のハザードで分けられており、ユーザーはハザードクラスとカテゴリコードの略号（例：Acute Tox. 4）、もしくは危険有害性情報コードの略号（例：H302）のいずれかを用いることができます。物質の特性と分類の要素を組み合わせることで、より正確な検索結果を導き出すことができます。

検索結果は物質に基づいて導き出されます。結果の中から一つの物質を選択すると、ユーザーはまず一致するエントリ（あれば）をリストアップした概略ページへ導かれ、続いて届出による分類を集計したページへ進むことができます。集計された届出の中からさらに特定のものを選択することで、ユーザーはそれらの届出を詳しく見るすることができます。

情報の構造

同じ物質についての届出は、数値によるその物質の識別子に基づいてグループ化されています。物質について国際的に調和された分類・ラベル表示が存在する場合、それは届出の上に表示されます。CLP 規則附属書 VI 内の一部のエントリ群は個別の EC 番号や CAS 番号を持ちません。そのようなエントリに関しては、届出と一致するエントリとの自動的なマッチングが行えない場合もあります。

同じ物質を同じ方法で分類している全ての届出は一つのデータにまとめられています。一つのデータにまとめられた届出の数も表示されます。まとめる際には物質の状態や形態および特定のハザードクラス内で分類が行われていない理由を除き、全ての分類・表示要素が考慮されます。このような違いがある場合、まとめられた分類の詳細ページ内に反映されません。

データの集約は、ECHA による手動での確認は行わず、自動的に行われます。届出手続中の技術的な誤りによって異なる分類が表示されることもあります。届出人は、組成プロファイル・不純物プロファイルの

違いといった、異なる分類を行う正当な理由がない限り、物質の分類が一致するようできる限りの努力を尽くすべきです。

インベントリではそれぞれの集約ページで届出人の数が示され、加えて合同で提出された REACH 規則登録用ドシエから得られた分類に印が付けられます。

展望

公開分類・ラベル表示インベントリは自律的かつ（EU 圏内で）調和化された物質の分類における今日で最大のデータベースであり、この分野における世界で唯一のデータベースでもあります。その公開は ECHA の義務に基づく危険性情報の共有における重要なステップであり、長期的には、消費者・職業的利用者・業界作業員による危険物質の安全な使用を促進する助けとなる可能性があります。

インベントリ内に蓄えられた情報の向上によって、段階的に様々なステップが扱われるようになり、全ての関係者による共同の努力が必要となることでしょう。

届出人はインベントリ上の物質についての分類を確認し、必要な場合には届出を更新することが推奨されます。当初の届出に用いたツールがどれであっても（IUCLID、バルクツール等）、全ての届出は REACH-IT で提供されているオンラインツールを用いて簡単に更新することができます。分類・ラベル表示公開インベントリは定期的に更新されています。新たな届出や既存の届出の更新は提出直後には確認できませんが、次のデータ更新に含まれます。

詳細情報とサポート

- 分類・ラベル表示公開インベントリに関する Q&A
- 分類・ラベル表示届出に関する技術的な質問と回答
- 実践的ガイド 7：分類・表示インベントリへの物質の届出の方法（22 カ国語で閲覧可能）

仮訳に関しては、化学物質国際対応ネットワーク事務局までお問い合わせください。

化学物質国際対応ネットワーク事務局

email: info@chemical-net.info

<http://www.chemical-net.info/>